



ぼらんていあ通信

2月号
通巻 No.435

発行 / NPO法人 相模原ボランティア協会 2018年2月20日
連絡所 〒252-0236 相模原市中央区富士見 6-1-20 あじさい会館・中央ボランティアセンター内
TEL/FAX: 042-759-7982 Eメール: sagamiva@feel.ocn.ne.jp HPアドレス: <http://sagamiva.info/>

今年も傾聴活動入門講座がはじまりました!



ボランティア協会の事業の大きな一つである、傾聴活動。
高齢になってひとり暮らしになったりすると、人と話す機会が少なくなります。そのような時に寄り添い、話を聴くことで、相手の心のケアを行う活動です。
また、人と接することの多いボランティア活動にとっても傾聴は大切な要素になります。
講座は始まっていますが、傾聴についてご興味のあるかたは、是非、講座を覗いてみてください。
傾聴を活かしたボランティア活動の事例も紹介しています。

*講座内容

- 2月15日(木) 午後2時~4時 会場: おださがプラザ 多目的ホール
傾聴を学ぶⅠ 講師: 田園調布学園大学名誉教授(臨床心理士) あらきちねこ 荒木乳根子先生
- 2月22日(木) 午後2時~4時 会場: おださがプラザ 多目的ホール
傾聴を学ぶⅡ 講師: 田園調布学園大学名誉教授(臨床心理士) 荒木乳根子先生
- 3月1日(木) 午後2時~4時 会場: おださがプラザ 多目的ホール
傾聴を生かしたボランティア活動の事例紹介



募集しています!



傾聴ボランティアと話してみませんか!

ご存知ですか、相模原ボランティア協会では傾聴活動を行っています。外部の人との接触機会が少なく、話しをしたくても機会に恵まれない方が対象です。高齢者、障害者を問いません。

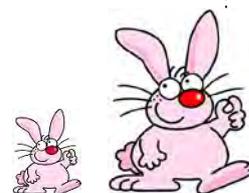
こんな方はお問合せください!

- ・一人暮らしの高齢者で、身体も不自由なため外出の機会が少ない人
- ・障がいのために自由に外出できず、人と会う機会が少ない人
- ・要介護者との同居でストレスがたまりがちの人
- ・軽い認知症で家族以外の人との接触が望ましいと思われる人

問合せ先

NPO法人 相模原ボランティア協会 傾聴委員会

電話: 042-759-7982 (協会事務局) まで。改めて担当者から連絡いたします。



Twitter

ほらんていあ通信版
ツイッターコーナー

こが あけみ
古賀 明美



私がボランティアを始めた頃はブームだったのが、定員二百人の養成講座に落選通知。当時は若かったこともあり、ハニィキャブの介助が多へ、1日1回活動した時もありました。その頃、救急法講座の案内を届くと、利用者さんは高齢者の方が多かったので受講。幸い実施する事はありませんでしたが、ハニィキャブに携わっていなければ赤十字奉仕団でも無縁だったと思います。

子供が大好きな私は見守りも多く受け、天真爛漫に遊ぶ子供達との時間が至福の時に。代表から私が一番楽しそうと言われた位です。別々の時は今日は一緒に遊ぼうかという話があり、必ず挨拶を済ませようという話。いつも、明日も遊ぼうねと嬉しい返事で、私の方が元気を貰います。

週一の中学校への送りの二年以上は、車イスでの二十五分が楽しい会話であつたと言つ間。寝坊した時は、主人に送ってもらつてもいいよと。湘野辺小学校での活動と学校の送りが重なつた時は、中学校まで待機してもらい、小学校まで送ってもらつた。主人の理解と協力なしでは、私のボランティア活動は今に繋がっていません。いつもアシシー君の支えてくれたボランティアのボランティアに感謝です。

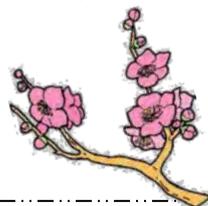
今迄、沢山の友達との出会いを頂き、楽しい思い出が走馬灯のように浮かび、「あの人は元気かな」と懐かしく思うことがあります。

ボランティア活動は私の元気の源のひとつになっています。細く長く二十五年間までの約三年余は、なんとか頑張りたいと思つていますが...

障音者の詩

今は 冬

坂本隆夫



今は 冬

病に 転動されている

長い 長い 道が 続いてくる

悲しさと悔しさが

繰り返して 追いかけて来る

エンドは いっしょ 歩いて来るのか

普通の 道に もどれるのか

冬は 長い

雪は 降っていない

雪下は 体を 寒くする

まじろみの 私 春は 近いかな

今年も また 梅の 芽が

たくさん でてきた

狭い 庭に 梅の木がある

桃 杏

季節を 乗り越え 咲いていく

私は 冬から春へと変転して行く

病は 長い しかし いつか 春が来る

何度 躁病と鬱病を

繰り返しただろう

何度 死を 考えただろう

負けない！ 断じて 負けない！

生き抜く 私に 勇気は ある！

*わくわく2018年1月号から転載

3月の記念日は？

小倉義男

3月20日、上野動物園開園記念日です。1882年、日本初の近代動物園として、上野動物園が上野公園内に開園しました。今や上野動物園は昨年産まれたジャイアントパンダの赤ちゃん、シャンシャン人気で入場者数も右肩上がりに伸びています。3月20日は入園料無料なので大変な混雑になりそうですね。(*~*)



小倉画

クイズに挑戦

今月は、なぞなぞです。幼稚園児から大人まで楽しめる問題です。いっしょにできるかな？

- ①パンはパンでも、食べられないパンって？
- ②星は星でも、食べられる星は？
- ③イスはイスでも、食べられるイスは？
- ④世界の真ん中にある虫は？
- ⑤初めてのキス、クリスマスイブのキス、結婚式のキス。このなかで、もっともふたりの距離が縮まったのはいつか？
- ⑥頭の良い人、優しい人、お金持ちの三人がやりの投げをしました。槍が一番飛ばなかったのは誰？
- ⑦いつも車に乗っているのは誰？
- ⑧お酒を飲めるのは二十歳からですが、車に乗れるのは何歳からですか？

*答えは次ページ。



ボランティア活動グループ訪問記

オジャマ



はやぶさカフェ大野北
みんなの相談室
(会場「スペースカフェ銀河」)

今回、訪問したのは

JR大野北駅北口から歩いて数分の所にある「スペースカフェ銀河」とい



う場所をお借りして開催されている「はやぶさカフェ大野北」です。昨年の秋にはJR大野北駅南口の国道十八号に程近い場所で開催されている「はやぶさカフェ大野北」にお邪魔しました。駅を挟む広い地域を抱える大野北地区社協の配慮により、南北双方に「コミュニティカフェ」を設置、少しでもみんなが利用し易くなるようにしています。

毎月一回第四金曜日十時から三時まで開かれています。この日は十一時ごろに伺って、民生委員でもあるリーダーの鈴木さんにお目にかかりました。お忙しい中、少しお話を伺いました。

この場所は元々「生活雑貨イナゲヤ」さんの店があった所で、お店の閉店がきっかけとなって一般にも有料で貸し出す部屋スペース「スペースカフェ銀河」が出来たのだとか。当時のお店の佇まいが残っているのでしょうか、入口も店内も可愛い、お洒落な雰囲気。



カラオケ指導員でもある鈴木さん

「スペースカフェ銀河」と刻まれた木製の看板もステキ。

「はやぶさカフェ大野北」は参加費無料、申し込み不要。誰かと話がしたくなったり、みんなと歌が歌いたかったり、お茶が飲みたくなったりしたときに自由に来て良い場所になっているとか。またこの場所は他のグループの活動にも利用され、入口にある掲示板には様々な案内のチラシが貼ってあります。「詩吟」「中国語講座」「易」「英会話」「パステル画」などなど。

奥のテーブルを囲んで参加の方が四人、高齢者支援センターの方が四人、ボランティア、見学の方々。鈴木さんの掛け声でさっそくみんなが歌を歌います。三十尾さんと私も一緒に歌った歌は「あの丘越えて」。懐かしいー鈴木さんはカラオケ指導員という肩書を持つておられるようで、よくとおる声でコーラスを引っ張り、思わず聞き惚れてしまいます。黒一点の男性の方の声も朗々と響き、後で伺ったのですがこの方は「詩吟」サークルの方だったとか。納得。



お話を弾んでいます～

次は手話のできる方が「ふるさと」の歌と同時に「モノストレーション」を張り上げたところ、お話を聞かされた「ティータイム」話の花が咲いています。鈴木さんにはもっつこ願いがあつたようです。日常生活で何か困ったことや相談事があった時に気軽に話ができるスペースです。タイトルにもある通り「みんなの相談室」ですね。そのためには「もっつこスペースが必要ですねえ」と言われる。二月一日の朝日新聞一面に「空き家 福祉施設転



用促す／国交省有効活用へ規制緩和」と題して全国で増え続ける空き家対策についての記事を読み鈴木さんの願いが早く現実になると良いなと思いました。(三十尾・小林)

*大野北地区社会福祉協議会
(大野北まちづくりセンター内)
事務局 小松・横溝氏
電話 042-861-4512



わくわく40号です!

わくわく 2018 冬号発行!

もくじ

- *創刊10周年記念座談会
 - *ふくしワンポイント情報
 - *障がい者の詩
- など情報が満載です。



*あじさい事務局に置いてあります。

クイズの答え

- ①フライパン ②梅干し ③アイス ④蚊(「せかい」の真ん中の文字は「か」だから)
- ⑤結婚式のキス(誓い(近い)のキスだったから)
- ⑥優しい人(思いやり(重い槍)を持っていたから)
- ⑦エンジン ⑧0歳から(運転するのは二十歳からだが、乗るだけなら0歳でもOK)

ほつりな♡ぼらんていあ(7)
和歌声一座(わかごえいちぞ)

朝日新聞平成二十六年十月十七日の記事を抜粋

「和歌声一座」は施設訪問回数が十六日千三百回に達した。発足から三十六年、派手な幔幕の前で次々に濃いメークと本格衣装で歌い踊る舞台上、お年寄りは昔を思い出し、涙を流して喜ぶ。

一座のメンバーは和歌声会の会員だ。会長兼座長の水谷正隆さん(八十三歳)が昭和五十三年に旗揚げし、現在の会員は二十八人。

水谷さんらは喜ばれる工夫として、灰色や白色が多い施設の壁には、あえて明るい色の幔幕を張り、祭り提灯を掲げ、一座ののぼり旗を並べると、すっかり小劇場の雰囲気変わった。会員の舞台衣装も凝っている。メークも濃いアイシャドウ、ほおはピンクを強調して舞台映えるよう力を入れる。音響にもこだわり、機器を保管している水谷さんの自宅の一室は重みで床が抜けたほどだ。

現在のメンバーは六十代から八十代、女性が三分の二を占める。毎月二〜四回は慰問をし、相模原市内をはじめ鎌倉、藤沢や八王子市などの施設も訪れた。会費は三か月で二千元。会員の車に分乗して施設を訪れる際のカソリン代、ボランティアの保険料に充てている。訪問先での昼食は各自が持参したお握りを囲んで話が弾む。「この家族のようなチームワークの良さが一座が長く続いている鍵と思う」と水谷さん。

発足以来のメンバーは水谷さん、妻か寿美さん(八十歳)の二人だけ。「相手も我々も喜ぶことはいつまでもやめられません」。出演は続く。



唄と踊り夢の花舞台

平成29年10月15日 南市民ホール



1300回目の出演を終えた一座の人たち。水谷座長(前列左端)と妻か寿美さん(右端)＝相模原市南区

災害復興支援 福祉活動連続40年 施設慰問活動1352回記念
友情出演 日本舞踏名取 歌う舞姫 葵かを里さんと

お問合せは
社会福祉 和歌声会(一座)代表;水谷 正隆さん
電話・FAX 042-742-8757

87歳の水谷さんは奥様と共に40年以上施設訪問や災害復興イベントなど1400回近く会員に支えられ活動中。東久邇宮福祉音楽褒章受賞をはじめ、沢山の表彰を受けられました。僧号;水谷 禅隆をもつ水谷さんは今でもパソコンでイベント案内や、名刺、封書の宛名など作成。総会に向けての資料もお一人で作成しているとのこと。

理事会報告

二月七日(水)十三時半から(理事七名出席)

一 報告事項

◆ 広報委員会

- ・ 公民館、学校等に配布するぼら通掲示用は三月迄とし、代わりにぼら通を送付。
- ・ 一月青年会議所の賀詞交歓会に出席。
- ・ わくわくは今年一杯発行し、その後の発行は様子を見て決める。
- ・ 次の発行日は未定。

◆ ハンディキャブ委員会

- ・ ハンディキャブ便りは三か月に一回程度作成。ぼら通に同封する。
- ・ 当面のハンディキャブ関係業務は吉留理事と杉本理事が引き継ぐ。
- ・ 運行実績集計は加藤委員長が引継ぐ方向で検討。

◆ 総会企画委員会

- ・ 将来のぼら協のあり方を話し合う為、アンケートや若手による話し合い等を計画する。

◆ 事務局委員会

- ・ 認定有効期間更新申請書を提出した。

◆ 傾聴委員会

- ・ 春講座の傾聴入門講座について、講座要綱、役割などを確認した。

二 審議事項

- ・ ☆総会の準備事項(総会五月二十日開催)
- ・ ☆日程、担当、議案書の内容などを協議。

三 その他

- ・ ☆桜まつり(四月七、八日)のパレード、福祉バザー、模擬店の担当を決めた。
- ・ ☆バザー出品受付は三月二十七日から。

次回理事会三月七日(水)十三時半から

イベント情報

松井美路子

オペラ&ビッグママ・プロジェクト
音風景をあなたに

日時：三月十八日(日)

午後二時～四時十五分
受付開始午後一時

場所：相模原市立総合学習センター大会議室
(中央区中央三の十一の十)

内容：聞いてみて得する・芸術を通して
認知症予防になる脳の活性化を！

第一部 ビッグママ・プロジェクト
お楽しみ Music Box

第二部 オペラ「カルメン」
(ダイジェスト上演)

申込：電話又は直接、総合学習センターへ

定員：百三十名(先着順)費用は 六百元

問合せ：総合学習センター

Tel 042-756-3443

ボランティア協会 3月のよてい

日	時間	内容
7(水)	13時半	定例理事会
10(土)	13時	事務局委員会
12(月)	14時	ぼら通部会
17(土)	10時	HC 委員会
19(月)	13時	ぼら通印刷
20(火)	13時	ぼら通発送
22(木)	14時	傾聴委員会
24(土)	10時	講座実行委員会

読み書きに困難のある方へ
大人になって分かった

ティスレクシア

日時：三月四日(日) 午後二時～四時

場所：けやき会館三階セミナールーム
(中央区富士見六の六の二十三)

内容：文字を書くことが苦手、音読をつかえてしまつたなどお困りの方は「ティスレクシア」と呼ばれる症状がもし

ありません。保育士の仕事を通じて自身がティスレクシアであることを知った

盛岡あけべさん(子供と親の育心応援家)石井康子氏の体験談を伺います。

対象：市内在住・在勤・在学の方で読み書きに困難のある方やその家族、テーマに關心のある方。

定員：三十名(先着順)

申込・問合せ：中央ボランティアセンター

Tel 042-786-6181

地域共生社会を築くのも誰かが安心して暮らしている地域です。

日時：三月十四日(水)

午前十時～十一時半
場所：上溝公民館入会議室
(中央区下溝七の七の十七)

定員：七十名(入場無料、申込制)

講師：隅河内 司氏
(田園調布学園大学 人間福祉学部 教授
相模原市社会福祉協議会生活支援
コーディネーターアドバイザー)

申込・問合せ：上溝地区社会福祉協議会

Tel 042-703-6960

相模原市で活躍する会社紹介

34 サーティーフォー

株式会社 サーティーフォー

本社：〒252-0142 緑区橋本1-14-3

業務推進事業部 部長

株式会社 34 ホーム 取締役

唐橋 二之さん(36歳)

電話:042-779-7766(代表)

(公社)相模原青年会議所 常任理事

(公社)日本青年会議所関東地区神奈川ブロック協議会

2018年度ブロック大会運営委員会 委員長

◆事業内容

- ☆総合不動産業、☆建設業
- ☆リノベーション
- ☆飲食業、☆ホテル事業
- ☆ヘルステック事業
- ☆人材マッチング事業

- 相模大野店
- 相模原中央モデルハウス店
- 海老名モデルハウス店

◆関連会社◆

- サーティーフォー東京株式会社 目黒区中目黒1-1-17
- 株式会社 34 ホーム 緑区橋本1-14-11

サーティーフォー hotels 北里大学前 Tel042-749-8181



- 南区相模大野6-7-9
- 中央区千代田4-3-13
- 海老名市中新田3-5-65

ただ家をご案内するのではなく
“暮らし”をご提案する。

私達サーティーフォーはそんな家づくりに
取り組んでいます。

神奈川県総合不動産会社として25年
以上にわたって“住む人の幸せを第一に考
える家づくり”を手がけてきました。

地元密着型で培ってきた信頼を強みに、
近年ではパートナーシップ事業として不動産会社と
手を結び、情報を優先して提供し、当社の物件をパ
ートナーシップ企業に販売していただく事業や共同
事業を立案し、展開しております。

また、新規事業へも積極的に推進しており、社会
的な人手不足が深刻するなか、外国人留学生と企業
を結び人材マッチング事業や年々増加しているイン
バウンド需要向けに自国言語で医療相談・受診案内
ができるヘルステック事業。さがみはらあ麺グラン
プリで3年連続受賞した「らあ麺食堂吉原」。リー
ズナブルで質の高い満足度を実現した「サーティー
フォーhotels 北里大学前」など。今後もサーティー
フォーは地元の皆さまと共に成長し続けます。

HP <https://www.thirty-four.co.jp>

らあ麺食堂吉原(西橋本店) Tel042-703-7227

とんこつらあ麺吉原(相模大野店) Tel042-705-3466



唐橋 二之さん

田名地区で、ハンディキャブ活動の紹介

ハンディキャブだより

去る1月18日(木) 田名公民館で行われた「平成29年度第4回 田名地区地域ケア会議 地域づくり部会」において、吉留副会長と杉本ハンディキャブ管掌理事の二人が“NPO 法人相模原ボランティア協会ハンディキャブ運行事業について”説明しました。

この「部会」は、お元気な高齢の方々へ社会参加を呼びかけていく目的で開かれ、今回の「説明」を田名地区でご活躍されている下記の方々に聴いていただきました。

- ・田名地区の、自治会・民生委員・老人クラブ・社会福祉協議会・公民館の、各幹部の方々
- ・市中央高齢者相談課・市地域包括ケア推進課・田名高齢者支援センター・市社会福祉協議会の、各幹部の方々

活動いろいろ

相模原市民まつりのパレードへの取組みを紹介します

ハンディキャブ活動を多くの市民の皆様にご紹介いただく目的で、毎年行われる「相模原市民まつり」(桜まつり・若葉まつり)のパレードに参加しています。小川ハンディキャブ委員会を中心に取組んでいます。

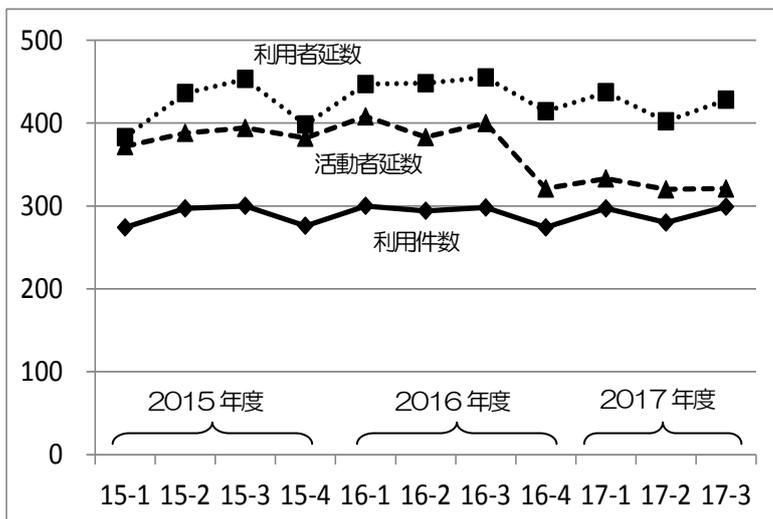
企画～準備	前々日の取組み	当日の取組み
1. 相模原市民まつり実行委員会の説明会に参加 2. ハンディキャブ委員会でパレードの取組み(人・車両・物品・段取り)を決定 3. 参加申請書類(車両の車検証のコピー・運転者の免許証のコピー含む)を提出 4. 「団体プラカード」と「参加車両標章」を受領 5. ぼらんていあ通信に「参加案内」を投稿	1. 車両に物品の積み込み ・団体プラカード ・参加車両標章 ・協会旗、横断幕 ・協会ジャンパー ・ひも、テープ類、など 2. 車両を指定場所に移動	1. 車両を指定場所からパレード出発地点に移動 2. 隊列編成 3. パレード の指揮 4. 車両を指定駐車場に移動 5. 物品の返却、車両を駐車場に移動

運行実績

第3四半期報告まとまる

第3四半期では、「セダン型」運行(運転者の自家用車を使用する運行)の利用件数の割合は39%でした。

利用件数	利用者延数	移送距離(km)	活動時間(時間)	活動者延数
299	428	3,557	493	321



お知らせ

10号車の更新を延期します

ご案内のように、南地区で運用している車両(10号車:日産セシナ)を更新するため、2017年度の日本財団「福祉車両の助成」を申請いたしました。残念ながら、昨年末に「不採用」の審査結果を受取りました。

その結果を受け、10号車の現在の性能状態に問題がないことを確認したうえで、更新の延期を決めました。今後も引き続き、専門業者による法定点検(2月・8月)と運行時の点検を実施していき、いままで通りの安全運行を確保してまいります。

なお、この度の「助成」に3,382団体が応募し、「採用」された団体は553団体(採用率16%)とのことです。



市社協ボランティアセンタートピックス(第3回)

雪害ボランティアにご協力をお願いします！！

❖ 冬、大雪によるライフラインの混乱が！

今年の冬は、例年になく各地で大雪に見舞われ、北陸地方では豪雪となり国道の寸断により、日常生活が大混乱する事態となりました。

相模原市でも、平成26年の2月14・15日に大雪に見舞われ、全市的な混乱が発生し、特に旧津久井四町地域では、数日間にわたり、バスの運休など、日常生活に支障をきたすほどの降雪となったことは記憶にあるところです。



❖ なぜ、雪害対策が必要なのでしょう

市内でも、1月22日に大雪となりましたが、大雪警報が発令されると生活道路の除雪が間に合わないという状況が発生します。特に山間地域では、主要な道路の除雪は行われても、山間地特有の細い生活道路まで、除雪が間に合わない事があります。

相模原市を襲った大雪でも同じ状況となり、特に高齢者世帯や障がい者世帯など、自宅の敷地から生活道路までの除雪が、体力の低下などで思うように出来ない、近隣の世帯も自分の家の除雪で手一杯、そして一部の地域では孤立化し、食料の不足、病院への通院ができないという危機的な状況が発生しました。

❖ 緊急時の対応へ・・・

こうした状況を受け、社会福祉協議会では、中央ボランティアセンター、緑区事務所、城山、津久井、相模湖、藤野地域事務所の職員による雪かきボランティアの立ち上げについて協議しています。

まずは、現地の状況を確認するため、地域の民生委員さんによる戸別訪問調査を実施し、その後職員が現地調査を実施しました。その結果、日常生活の確保を優先し生活動線の確保を目的に、除雪活動を実施することになったのです。

❖ 除雪ボランティアの誕生

市社協では、ホームページやいるかバンクの登録者に呼びかけ、翌週の土曜、日曜日の2日間、高校生以上のボランティア延べ31名により、深く積もった雪の除雪活動が行われました。

❖ 大雪対策が各方面に広がる

相模原市で初めてとなった広域的な除雪ボランティアは、市が作成する「降雪対策マニュアル」にも掲載されています。

❖ 市内の広域災害にも対応可能なボランティア活動を展開しています

市社協では、相模原市内での地震など大規模な災害時の活動に備えて災害ボランティアマニュアルを作成しました。また被災時の生活支援では、災害ボランティアネットワークも活動を展開します。災害支援活動に興味がありましたら、お近くのボランティアセンターまでご連絡ください。

執筆 緑ボランティアセンター
*市社協は市・地区民生委員児童委員協議会の事務局を担っています

ボランティアさん募集!

日課活動のお手伝い

- 内 容 高齢者施設で行われるレクリエーションのサポートをお願いします。
- 日 時 金～日曜日 14:00～16:00
- 場 所 アズハイムテラス相模原ショートステイ(中央区横山4-23-27)



連絡・問い合わせ先

相模原ボランティア協会あじさい連絡所 : 電話 042(759)7982
 相模原市社協 中央ボランティアセンター : 電話 042(786)6181

相模原市民桜まつり(4月7・8日)に参加しませんか?

ボランティア募集

- 内 容 パレード参加・福祉ゾーンバザーやボラ協コーナーの運営のお手伝い。
また、各ブースの準備や片付けのお手伝いや声かけなど
- 日 時 平成30年4月6日(金)～4月8日(日)
ご都合のよい日・時間帯に2時間～
- 場 所 市役所周辺の桜まつり会場内

今年も桜まつりのバザーに参加します!

バザー品の提供をお願いします。
 収集期間等詳細は3月号でお知らせします。

大募集

パレードに参加のボランティアさんを大募集!

4月8日(日)のハンディキャブ号とセダン型自家用車と共にボランティア協会のPRパレードに参加してくださる会員を大募集しています!!

連絡・問い合わせ先 相模原ボランティア協会 あじさい連絡所 : 電話 042(759)7982

立春を迎えたのに、毎日寒いことです。家事をやめるもおおっくつになり、つい先送りになって。そんなお気分もまた落ち込んでしまい悪循環の繰り返しになるばかり。朝フツオを聴いたら早咲きの梅の開花もあまの寒さで遅れているのか。そっだ我が家の前の小学校の梅は...。寒いことばかりに気を取られてチョット目を向けて見るとすら出来てなかった。なんとなんとすっかり紅梅が朝日をうつけて咲いているのではなからうか。元気が湧いてきました。

編集後記

(植)



《今月のイラスト》
 ...春はもうすぐですね...《

正会員登録のお願い
 来年度の会員登録が二月一日から始まります。あじさい連絡所、または同封の郵便振込で更新手続きができます。登録内容に変更のある方はお申し出ください。よろしくお願ひします。



ボラ協会員数 / 正会員 118 名 ・ 賛助会員 (個人) 3 名 (法人) 1 団体 (2月16日現在)